

現代社会

1 目標・使用教科書等

学習の到達目標	1. 思想や宗教の学習を通して、異文化に対する理解力を高める。 2. 現代の政治、経済、国際関係などについて、様々な観点から考察し、それに対する自分なりの意見を持てるようになる。 3. 近い将来の有権者として、投票の際の基準となる基礎的知識を習得し、公正な判断力を養う。
使用教科書・副教材等	数研出版「改訂版 現代社会」、帝国書院「ライブ！現代社会2019」

2 学習指導計画

学習内容 (教科書の単元)		学習のねらい
4月	第2編 現代の政治と法 第1章 個人の尊重と法の支配 第1節 民主政治の基本原理	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の発展過程と各国の政治制度の特徴について理解させる。 基本的人権と法の支配を中心に、民主主義の大切さを考察させる。
5月	第2節 日本国憲法と基本的人権	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の基本原則と現実の問題について考察させる。 憲法が果たす役割について考え、法の支配や憲法の基本原則を遵守することの必要性を理解させる。
6月	第2章 現代の民主政治と政治参加 第1節 日本の政治機構 第2節 政治参加と民主政治の課題	<ul style="list-style-type: none"> 国会、内閣、裁判所、地方自治体といった日本の政治機構のしくみを理解し、権力分立のしくみが日本国憲法の下でどう活かされているのかを考察させる。 日本の政党政治や選挙制度について基本的な知識を身に付け、理解を深めさせる。 世論の役割や国民の政治参加がどうあるべきかについて考察させる。
7月	第3章 国際政治の動向 第1節 国際政治の動向 第2節 国際政治の課題と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> 国際連合の成立過程やしくみや課題について理解させる。 核兵器や通常兵器の削減に関する諸条約の成立までの流れを理解し、国際社会が抱える課題について考察させる。
8月	第3編 現代の経済 第1章 現代の経済社会の変容と現代の企業 第1節 経済社会の変容と現代の企業	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済の成立過程からその変容について理解し、資本主義の特徴について考察させる。 資本主義と社会主義の違いについて理解させる。 現代企業の特徴、市場経済のしくみと現状を理解させる。
9月	第2節 市場機構と政府の役割	<ul style="list-style-type: none"> 市場のメカニズムをはじめとする現代経済のしくみや理論について理解させる。
10月	第2章 日本経済の進展と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> 戦後経済の復興、高度経済成長など日本の戦後経済史を国際情勢と関連づけながら有機的に理解させる。
11月	第2節 豊かな生活と福祉の実現	<ul style="list-style-type: none"> バブル経済後の日本経済の課題について考察させる。 時事的な経済問題を、自分の生活と直接的に結びつけられる生きた知識を身につけさせる。
12月	第3章 国際経済の動向と日本の果たすべき役割	<ul style="list-style-type: none"> 貿易や国際収支のしくみを理解し、国家間の対立や協調の動きについて考察させる。
1月	第1編 現代の社会と人間	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題に対してどのような国際会議が開かれ、どのような取り決めがなされているか理解させる。
2月	第1章 私たちの生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> 人生における青年期の意義を理解し、人生や将来を肯定的に捉えることができるようになる。
3月	第2章 青年期と自己の形成	<ul style="list-style-type: none"> 青年期の最大の課題として、アイデンティティの確立があり、自分または自分にふさわしい職業を主体的に考察させる。

3 評価方法

定期考査 提出課題及び提出状況（考査の見直しノート提出など）